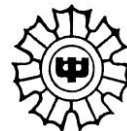


**【学校教育目標】**

創造…自ら考えつねに真理を求め創造する生徒
協力…豊かな心を持ち礼儀正しく協力しあう生徒
忍耐…心身ともに健やかでねばり強くやりぬく生徒
奉仕…勤労をいとわず奉仕につとめ公共につくす生徒



伊達市立光陵中学校だより 平成30年度 学校評価特別号 平成31年2月22日発行

～「よりよい光陵中づくりのためのアンケート」を終えて～

平成30年度「学校評価」結果等のお知らせ

昨年11月に実施いたしました今年度の学校評価（よりよい光陵中づくりのためのアンケート）では、ご多用中にも関わらず、ご協力いただき本当にありがとうございました。おかげさまで、92.5%という高い回収率で保護者の皆様にご回答をいただきました。その集計結果と分析・考察等についてまとめましたので、お知らせいたします。

1 教職員・保護者・生徒「三者比較」結果について

(1) 集計結果

※裏面をご参照ください。

(2) 分析・考察等

ア 教育目標について

○「学校の教育目標達成に向けた取組」については、今年度も、保護者から8割（3.2P）以上の評価をいただきました。この結果を励みに、より一層保護者から、日常の教育活動の積み重ねに対する評価が得られるよう信頼される学校づくりに努めてまいります。

イ 学習面について

○「わかりやすい授業づくり」「生き方を考える進路学習の取組」については、生徒からそれぞれ3.5Pの高い評価を得ることができました。今後も、学力向上を目指した授業改善や生き方を考えさせるキャリア教育の推進に努めてまいります。

●「家庭学習の習慣化へ向けた取組」が、三者共通して2.5P以下という結果となり、引き続き今後の最重要課題の一つです。次年度も、各家庭と連携を図りながら、基本的な生活習慣の見直しを含め、各学年段階に応じた家庭学習時間の適切な確保が図られるよう努めてまいります。

ウ 生活面について

△「親身な相談」「いじめ問題等への対応」「部活動や行事における満足感・達成感」については、生徒からそれぞれ3.5P以上の高い評価を得ることができました。一方、この3項目において、保護者からの評価については、昨年度と比べ0.1～0.2P低下しています。今後、保護者からも学校側の適切な対応について実感いただけるよう日常的な連携に努めてまいります。

●「基本的な生活習慣」については、他の項目に比べて、特に生徒自身が低い評価となっており、課題の一つと捉えています。今後、各家庭のご協力をもとに、基本的な生活習慣の確立へ向けた生活リズムチェックシート等を活用した取組を進めながら改善に努めてまいります。

エ 心の教育について

○「命の大切さや安全」については、生徒から全項目の中で最も高い3.7Pの評価を得ることができました。次年度から本格的に始まる「特別の教科 道徳」や外部講師等を活用した安全教育の充実を図り、命を大切にする心や社会・学校のきまりを守る態度等の育成により一層努めてまいります。

●「道徳の授業」については、生徒の多くは、自分自身の心の成長につながっていると感じている反面、保護者は、2.4Pと低い評価となり、意識のずれが見られる結果となりました。次年度については、道徳化の授業参観等の検討を図りながら、保護者にも生徒の変容が実感いただけるよう努めてまいります。

オ 連携・協力面について

- 今年度も、PTAの各委員会活動をはじめ、光陵祭におけるバザーのお手伝いなど、保護者の皆様からは多くのご協力をいただき、本当に感謝しております。ただ、保護者自身の評価としては、「学校との連携」については、2.6Pと低い結果でした。次年度におきましても、ご多用のこととは重々承知しておりますが、年間行事予定等を参考にしながら、授業参観や学校行事等への参加を通して、生徒たちの活動の様子や成長の過程をご覧いただけたら幸いに思います。

カ 施設・設備面について

- 「校内や校舎周辺の安全な整備」については、保護者から全項目の中で最も高い3.3Pの評価をいただきました。次年度におきましても、PTAや他機関とも連携を図りながら、より一層教育環境の安全整備を進め、生徒が安心して通える学校づくりに努めてまいります。

2 保護者・生徒「自由記述」について

(1) 主な記述内容

今年度も、学習面・生活面・進路指導・学校行事等、多方面にわたり、ご意見やご感想、ご要望等をいただくことができました。全文は掲載いたしません、いただいたご意見等の主な内容について、お知らせいたします。

ア 保護者

- ・早い段階での進路指導について
- ・部活動の活動時間の長さについて
- ・保護者との対応の在り方について
- ・家庭学習の習慣化や宿題の在り方について
- ・テスト日程について
- ・暑さ対策(水筒持参やジャージ登校等)について
- ・生徒の登下校時の歩行マナーについて
- ・通学路の不安(外灯、冬期間)について
- ・参観日における学級懇談の在り方について
- ・土曜、日曜参観や土日祝日の部活動見学について
- ・生徒への個に応じた指導や適切な言葉がけについて
- ・職業体験学習の希望調査の在り方について
- ・テスト採点返却時における教員の対応について
- ・通学鞆の重量と置き勉の検討について
- ・学校電話(電波)の不具合について
- ・学校評価(内容・記名の必要性・選択肢等)について

イ 生徒

- ・学年同士の交流の場について
- ・学力向上週間の在り方について
- ・進路希望調査とテスト返却の関連について
- ・あいさつや言葉遣いについて
- ・いじめ問題への取組について
- ・通学路の整備について
- ・私語や忘れ物対策について
- ・学習規律について
- ・暑さ対策(水筒持参)について
- ・ボランティア活動の取組について
- ・校内美化(トイレ・更衣室)について

(2) 分析・考察等

上記の内容の中でも、特に、複数のご意見をいただいたのは、「暑さ対策」と「通学鞆の重さ」に関係するものでした。「通学鞆の重さ」については、保護者へのお便りでもお知らせしましたとおり、早速3学期はじめに、生徒指導部が中心となり、改めて「学校に置いていってよいもの一覧」を提示し、その対策に乗り出したところでもあります。更に、現在、年度末反省会議等を通して、学習面や生活面でのリスクなども踏まえながら、多面的に検討を重ねているところです。引き続き、次年度におきましても、改めて懇談会等において保護者から意見を伺ったり、生徒会活動の中で生徒自身の意見を聞きながら、本校としての取組の方向性を探ってまいりたいと思っています。

また、上記以外にも、多くの保護者から本校の学習指導や生徒指導への取組に対し、高い評価をいただき、「光陵中学校での子供の成長を楽しみにしている」といった今後の励みとなる心温まるお言葉もたくさんいただきました。これらの言葉に甘えることなく、保護者・生徒・地域との信頼関係を深めつつ、生徒の健全な成長に向けて様々な視点から意見を皆様と交換し、よりよい方策をもって光陵中ならではの特色ある教育活動を推進してまいります。今後とも、ますますのご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。